

講演申込書

講演申込(○で囲う)		1.高温プロセス基盤技術 6.分析評価・解析技術		2.製銑・還元 7.加工・鋼構造		3.製鋼・精錬 8.表面技術		4.鑄造・凝固 9.材料の組織・性質		5.計測・制御・システム技術 10.萌芽・境界領域		受付番号	
講演申込番号		特記事項		勤務先 (略称で記入)		氏名(講演者○印) 会員番号		勤務先 (略称で記入)		氏名(講演者○印) 会員番号		1.OHP 2.スライド 3.その他()	
中分類番号		有・無		勤務先 (略称で記入)		氏名(講演者○印) 会員番号		勤務先 (略称で記入)		氏名(講演者○印) 会員番号		ご使用になる機器(○印)	
今大会における連報の有無		題		勤務先 (略称で記入)		氏名(講演者○印) 会員番号		勤務先 (略称で記入)		氏名(講演者○印) 会員番号		電話	
連報の申込番号		目		勤務先 (略称で記入)		氏名(講演者○印) 会員番号		勤務先 (略称で記入)		氏名(講演者○印) 会員番号		FAX	
分類				勤務先 (略称で記入)		氏名(講演者○印) 会員番号		勤務先 (略称で記入)		氏名(講演者○印) 会員番号		内線	
講演番号				勤務先 (略称で記入)		氏名(講演者○印) 会員番号		勤務先 (略称で記入)		氏名(講演者○印) 会員番号			

注1) プログラムに掲載する共同研究者は6名以内とする 注2) 勤務先略称の記入例……東大工, 住金鹿島, 新日鉄先端研, NKK京浜, 川鉄鉄鋼研, 神鋼鉄鋼研, 金材技研

(B) (B)欄はそのままデータベースの原稿となり、(特)日本科学技術情報センター(JICST)のJOIS文獻データベースに力入れされ、研究情報としてオンラインにより内外に流通することになりますので、裏面の抄録の執筆要領に沿って明確にご記入下さい。
(注意1) 著者名は正確にフルネームでフリガナをつける。
(注意2) 著者が6名を越える場合には別紙に記載して添付する。

受番	付号	講演番号	著者勤務先	フリガナ氏名(講演者○印)	勤務先・連絡先所属先	電話	FAX	内線
標題								
講演(データベース入力原稿)								